## 不祥事根絶のための行動計画

【不祥事根絶に向けた本校の決意】(行動基準)

## 【心にゆとりとブレーキを】

- 1 私たちは、心にゆとりとブレーキを持って、法令等を遵守します。
- 2 私たちは、心にゆとりとブレーキを持って、児童・保護者・教職員に接します。

(体罰・セクハラ・パワハラ防止)

3 私たちは、心にゆとりとブレーキを持って、ハンドルを握ります。

(交通事故・飲酒運転防止)

4 私たちは、整理整頓と早期退校に努め、心にゆとりとブレーキを持って職務に専念します。 (情報管理・健康管理)

呉市立広南小学校 校長 山田幸治

区分	本校の課題	行動目標		点検方法 【時期】
教職員の規範意識の確立	<ul><li>○ 本校で生起する可能性がある不祥事として、「個人情報管理」「交通事故」「体罰」が考えられる。</li><li>○ 定期的な服務研修の実施や新聞記事等の配付を行い、個々の規範意識の高揚を企図しているが、当事者意識が不足している。</li></ul>	<ul> <li>↓ 机上の整理整頓を行う。</li> <li>↓ 時間と心に余裕ある運転をする。</li> <li>↓ 丁寧な言葉遣いで、組織的に指導を行う。(児童の呼名は、~君・さんをつけて行う。)</li> <li>↓ 教職員参加型で主体的な服務研修を実施し、規範意識の高揚を図る。</li> </ul>	・退校前の「5分間整理」「指さし確認」を 実行する。 ・通勤経路の交通状況等の情報を共有する。 ・必ず複数体制で対応を行う。 ・全教職員が服務研研修の企画・進行を行い、当事者意識をもつ。 ・不祥事防止のためのチェックリストを実施し、面談を行い、規範意識の高揚を図る。	*声かけ 【毎日】 *不祥事防止委員会での確認,評価 【適宜】 *服務研修 【月1回】 *面談(自己申告時) 【年3回】
学校組織としての 不祥事防止体制の 確立	<ul><li>○ 分掌部を中心として生徒指導体制を 構築しているが、複数指導・指導方法・ 常時活動の徹底など、取組の不十分さ がある。</li><li>○ 多忙時には、不祥事防止にブレーキ をかける心の余裕不足を感じている教 職員が多い。</li></ul>		・情報の収集と「報告・連絡・相談・確認」 の徹底により、情報の共有化を図る。 ・日常的な指導体制により、「隙間(時間・ 場所)」をつくらない。 ・退校時刻を厳守する。(18:30 退校、水曜日 17:30 退校の徹底) ・教職員間の挨拶、コミュニケーションを図 る。	*暮会での情報交換 【週1回】 *声かけ 【毎日】 *声かけ,退校時刻予定 表,入退校時刻記録票, タイムカード 【暮会,適宜】 *声かけ 【毎日】
相談体制の充実	<ul><li>○ 「体罰, セクシュアル・ハラスメント相談窓口」等の周知は行っているが, 十分な活用がされていない。</li><li>○ 日常的に, 丁寧な保護者対応ができているとは言えないこともある。</li></ul>	「いじめ等相談窓口」の周知を定期 的に行う。	<ul> <li>・学校だよりやホームページ、参観日等で、繰り返し周知する。</li> <li>・校内(教室・廊下等)の掲示を行う。</li> <li>・電話連絡か家庭訪問を行い、対応する。</li> <li>・思いをしっかり受け止め、誠意ある対応をする。「行ってきます」「お帰り」のかけ声を大切にする。</li> <li>・対応した内容については、管理職に報告する。</li> </ul>	*不祥事防止委員会での確認,評価【適宜】 *校内巡視【適宜】 *学期ごとの児童・保護者・教職員対象のアンケートの実施【年3回】 *積極的にスクールカウンセラーの活用を図る。